



たたら

第17号
島根学習センター内
島根同窓会

発行者 竹下靖彦
2021年7月発行

<http://oushimaned.main.jp>
E-mail info@oushimaned.main.jp



(第9回通常総会出席の皆さん)

第9回通常総会を開催しました

新型コロナ禍が終息するどころか、大都市から地方都市に蔓延し新たにインド株やの変異ウイルスが市中で感染する時期ですが、三密に配慮して感染対策に取り組み、2021年4月17日(土)13:30から昨年に引き続き、センターの配慮により開催しました。

今通常総会には、委任状を含めて62人(70%)、当日出席18人が参加して開催しました。総会の任務は①2020年度事業報告、②2020年度決算・監査報告、③2021年度事業計画、④2021年度予算、⑤任期満了に伴う第5期役員を選任でした。

総会には、田坂郁夫新所長、小仲事務長が来賓として出席され「これまでのセンター支援に感謝するとともに今後も引き続きお願いしたい」と挨拶された。その後も同窓会の活動を把握のために総会終了まで参加をされた。

総会は更なる飛躍を果たすため、活動をきめ細かに推進する。そのためには、①地域別会員・学生の懇談会の開催、②会報“たたら”の編集充実、③ホームページと情報伝達の充実、④本格的に地域貢献活動の取り組み、⑤放送大学の宣伝、⑥執行体制の強化を打ち出し、創立10年を成功させるために一丸となることを全会一致で承認しました。

今総会では、創立以来同窓会を支えて下さった役員4人の方が退任され、新たに年齢、地域別を考慮し4人の方が就任に快諾頂き、結果平均年齢が若返り、今後の活動が大いに期待される。

コロナ禍での新たな同窓会の姿

会長 竹下靖彦



会員の皆さま、お変わり
ございませんか。

昨年からの新型コロナ
ウイルスによる罹患患者

の増大により、国内においても菅内閣における
コロナ対策の失敗により、1年6ヶ月に渡り、
都市部での緊急事態宣言の発出と安易な解除の
繰り返して、尊い人命と医療の逼迫を招き、国
民に不安にもたらしめている。ここにきて漸くワ
クチンの確保と接種作業が進展しつつあります。

とは申せ、このような状況にあって果たして
五輪・パラリンピックの開催が可能なのか。国
会でも野党から「今命を感染リスクにさらして
まで五輪・パラリンピックを開催しなければなら
ない理由は何か」と追及されても、相変わらず
念仏を唱える如く「国民の命と安全を守るの
は私の責務だ」と答え、具体的な理由は応える
ことが出来ずに、何が何でも開催ありきで突き
進む状態です。

さて、4月17日に開催しました第9回通常総
会では大変お世話になり、御礼を申し上げます。

愈々島根同窓会は節目の設立10周年を迎え
るため、新たな同窓会の活動に取組めるよう新
進気鋭の役員を擁し、コロナ禍による活動が制
約された中での創意工夫により、会員のご要望
に応えるべく出発しました

通常でも個人学習を主とし、放送授業もイン
ターネットによる視聴で、全く学生同士の交流
が減少しているところに、コロナ禍に伴いほと
んど在宅での対応となったことから、学生交
流も遮断されたことで異様な展開となり、学位
記授与式へ参加者の減少など、今後の放送大学
の在り様を象徴している昨今です。

島根同窓会もその影響を受け、新規の入会者
が低迷し、継続される会員も減少となり従来に
もまして一層のご支援・ご協力を切に願います
次第です。

1964年の東京オリンピック

所長 田坂郁夫



ここ2回、新型コロナに対
応するセンターの動きなどを
お話ししましたが、コロナ、コ
ロナといささか食傷気味なの
で、今回は思い出話を少し。

先日(今は6月です)行われた国会の党首討論
で、首相が質問とは全く的外れに1964年の東京
オリンピックの思い出を語っていました。曰く、
バレーボールの東洋の魔女、マラソンのアベベ、
柔道のヘーシンクが記憶に残ると。1964年以降
にお生まれになった方には申し訳ないですが、
皆さんの思い出は何ですか。

私はなんと言っても開会式です。この日は土
曜日だったのですが、当時は土曜日でも午前中は
学校がありました。小学6年生だった私は授業
が終わると急いで家に帰り、白黒テレビの前に
座りました。そして、午後2時(だったと思いま
す)、トランペットのファンファーレに続き、古
関裕而作曲のオリンピック・マーチが奏でられ、
入場行進が始まりました。

オリンピック発祥の地ギリシャを先頭に、ア
ルファベット順に各国の選手団が入場してきま
す。イギリス、アメリカ、ソ連といった名前をよ
く知る大国と並んで、先月独立したばかりとい
うアフリカの国、初めて聞く南米の国などが続
きました。今は民族衣装を着飾った女性が選手
団を先導することが多いですが、この時は防衛
大学校の学生がプラカードを持っていました。
そして、最後を飾る日本の選手団で行進が終わ
りました。この間、流れ続けたオリンピック・マ
ーチのメロディーは記憶に刷り込まれ、今も頭
の中を流れます。その後のセレモニーでは、独
特の抑揚で告げる昭和天皇の開会宣言と聖火の
点火が記憶に残っています。

週が明けて月曜日の学校は開会式の話で盛り
上がりましたが、家業が電気店の友達が「選手

団の赤い制服きれいだったね」と言ったとき、あっ、彼はカラーテレビで見たんだと思い、ちょっと羨ましかったのを覚えています。ちなみに我が家のテレビに色がついたのは、その4年後でした。

令和2年度2学期

学位記授与式が行われました



令和2年度第2学期学位記授与式が、3月28日(日)午前11時から島根学習センター3階第1講義室で開催されました。第2学期は教養学部23名、大学院1名が卒業・修了され、本授与式には6名が出席されました。最初に田坂島根学習センター所長より学位記が卒業生修了生おひとりお一人に手渡されました。

続いて田坂島根学習センター所長から次のような祝辞がありました。「一昨年、中国発と言われる新型コロナウイルスが世界中に拡大した。過去、中世ヨーロッパで発生したペストを振り返り、その対応について今の日本とあまり変わらないと感じる。

ところが、ペストはヨーロッパの人々には苦しみを与えたが、人類に大きな恩恵をもたらした。ニュートンは知識と有り余る時間を使って微分積分学の発見、万有引力など多くの研究を成し遂げたとされている。今回でも人々は不自由な生活を強いられています。

しかしその中でも新しい科学の考え方・産業の芽生え、より自由な生活様式を志向している人がいるのではないのでしょうか。皆様も放送大学で学んだ新しい知識、それらもとにした多

様な考え方を通して、ご自身や日本、世界のこれからについて考えて頂けたらと思います。「明けぬ夜はない」と言われます。これまでの不自由な時間を有効なものにして頂けたらと思います。」と挨拶がありました。

次に同窓会を代表して石川副会長より卒業された皆様へニーチェの言葉を紹介し、お祝いの挨拶がありました。「ニーチェの言葉に“学ぶ意志のある人は退屈を感じない”というものがあります。これは学び、知識を積み、知識を今なお教養と知恵に高め続けているような人は退屈を感じなくなる。それはあらゆる事柄が以前にもまして一層興味深くなっていくからです。」というものです。

このように、みなさまにはぜひ新しい「志」をたて、学びを継続し、次の目標へ向かっていただきたいと思います。」最後に卒業生の皆様全員に同窓会に入会していただきたいとお願いし、お祝いの挨拶がありました。

(石川直樹 記)

令和2年度第2学期卒業を祝う会



3密を避けての祝う会

3月28日(日)、令和2年度第2学期学位記授与式の後、12時からスティックビル5階ホールにて同窓会主催の食事会を兼ねた「卒業を祝う会」を開催しました。

今回は卒業生4名と在学学生名が参加しました。

はじめに石川副会長からお祝いの挨拶があり、続いて田坂島根学習センター所長から今後のさらなる学びと活躍、同窓会への御礼の挨拶がありました。

次に、学友会より学友会会員の卒業生に、学友会のご家族の手作りの記念品が贈呈されま

した。続いて卒業生よりこれまでの苦労話や感想、今後の抱負などを話して頂きました。「いろいろな年齢の方と出会えた放送大学は自分の人生の中でも、とても良かった」、「11年目で4回目の卒業となったが次も続けたい。現在は、放送大学での学びを契機として環境市民団体の代表としてやっている」、「今回5回目の卒業となるが、16単位で卒業できることに疑問を感じる。また、島根大学の単位互換制度を活用してほしい」などの話がありました。

前回に続き、コロナ禍のなかでの食事会のため黙食となり、楽しく話ながらの食事会とはいきませんでした。和やかな雰囲気の中で閉会しました。

2020年度2学期に学位記授与
されました皆さんに投稿をお願い
しました。

学位記授与を受けて

ICT時代

人間と文化 佐々木敏夫



情報通信技術時代は1995年Windows95の爆発的利用拡大により幕を開けた。関西に在住し、96年にパソコンを購入して会社の会議書類案の作成を自宅で行い、会社へパソコンFAXしていた。

98年に退社してみると、関西圏の文化について皆目無知であることに驚愕。これが系統的に学べる放送大学へ98年に入学した動機である。平成時代は関西2府4県を意欲的に渉猟。京都に所属しパソコンを用いて哲学、思想、宗教思想、歴史、美術、情報などを興味深く受講していた。2019年9月、松江に移住、Windows10を

購入した。パソコンの活用については、家系記録の作成もその一つである。松江に関係しているので記してみた。

先ず、母方は松江藩士であったが、2014年に親戚筋が所持していた古文書の解読を依頼された。パソコンで松江藩を調べていくと『烈士録』という文言があり、松江歴史館に問い合わせたところ県立図書館が活字に起こしているとのこと、図書館から該当部分を入手した。元祖が1682年、三代・松平綱近公より江戸にて右筆と姓を賜ったことなど、江戸末期まで詳細に記述されている。

次いで、父方の先祖についてである。松江城が2015年に国宝に指定されなければ表面化しない情報をパソコンで入手。2017年、祖父の個人名をパソコンで検索すると、2017年の『松江市史研究』の記事の中に記載されていた。1894年、松江城の大修繕について、曾祖父と祖父の名、棟梁として従弟の曾祖父の名があり、真偽を調査することにした。従弟に聞くと、松平家からの感謝状があり間違いないとのこと。松江城の天守にその旨の墨書があるとの『松江市史研究』の記録から、真実であろう。

いずれの家系記録もパソコンの活用がなければ、発見し編集することは、ほぼ不可能であっただろう。

入院中に窓から見える風景をスケッチした。建物東側直下に米子川があり、堀川遊覧船を真上から見るのができた。何故か船の進むのを見て、時代の流れ・日本人気質の流れの通底を探ってみたいと思った次第である。

大盤振る舞いの学位記

自然と環境 竹下靖彦



2021年3月28日(日)開催された2020年度2学期学位記授与式に於いて、「自然と環境」コースの卒業単位要件を満たし、5回目の学位記を授与さ

れた。

このコースは2015年11月突如として2016年4月以降に再入学(3年次学士入学)したコースの科目(導入科目、専門科目、総合科目)から新たに16単位以上(既修得単位を含まない)と学位記の大盤振る舞いとなる「新カリキュラム」の“恩恵”を受けての卒業となった。

この「新カリキュラム」について、私が情報公開請求での入手した資料によると、カリキュラム改正の検討は2012年2月に発議され、2012年5月にワーキンググループが設置され、26回にわたり協議されている。そして2015年7月に教務委員会、教授会にて「新カリキュラム」の適用等について終了し、この間在学学生に対するWGに関する情報は隠蔽(私の記憶では)し、突如として2015年11月に学生に通知された。

当時の宮本教育担当副学長の回答によると、改正の理由は、本学が生涯学習機関であるとの観点から「長期間の学び」が出来るように、その機会を提供していることから、①再入学後の2年間で1単位も修得せずに卒業しているケースが多々生じているため、大学設置基準や本学の再入学の趣旨から考えて好ましい状況にあるとは言えない。②卒業要件を満たしやすくなったことから、再び大学に入って学習するという再入学の本来の趣旨に鑑み、今回再入学者については、入学後、新たに16単位を修得することを要件に加えた。

ならば、既修得単位に新たに数単位の修得を追加すれば改正の趣旨は可能であったはずである。放送大学は改正後5年間における「新カリキュラム」の評価について、内外に公表すべきではないだろうか。と考えながら学位記を受けた次第である。

全コース踏破のため、残る「心理と教育」コースに2021年1学期に再入学し、16単位を2学期で修得するため、齢を重ねるも今少し脳細胞に対し、どうかお願いだから“知能を総動員”して是非とも達成したいと願いつつ履修に取り組んでいる。

学位記授与を受けて

心理と教育 藤田祐子

この度、心理と教育コースを無事卒業することが出来ました。嬉しいというより何とか一段落がついたといったところでしょうか。

放送大学に入学した暫くは、毎日が本当に忙しくパート・子育て・家事・子供の役員等でへとへとでしたけど、自分の中で優先順位を決めて通信指導・単位認定試験の勉強をしていきました。相談できる方もおられ何とか単位を取っていくことができました。

しかし、ちよくちよく子供の問題が起こり、学習を続けられないと思ったことが何度かありました。そんな時は島根学習センターの女性スタッフの方だったり、面接授業で隣になった先輩お母さんだったり、私の子供と同年のお子さんがおられるお母さんだったり、私よりとても大変な境遇でも何とか時間を作って面接授業に来られているお母さん方々とお話しをすることにより、自分を奮い立たせることができ学習を中断することなく続けてこられました。

面接授業だったり、県外の学習センターへ行くと家と職場の往復の毎日から見る世界を広げさせていただいたり、放送大学に入学しなかったら出会えていなかった方々と知り合うことができました。

放送大学で勉強をするなかで教育の流れは速いのだと感じました。私が入学した頃に教材テキストで読んだことが、私が卒業する前(5年くらいの間)に読んだ別の教材テキストに書かれたいたことが同じことなのに正反對な事がありました。研究が次々とされ論文などで発表されて新しい事実がわかっていき、昔に言われていた事と昨今とは大きく違うこともあり、私が選択した心理と教育で私は勉強をして知ることができました。

在学中に実父が亡くなったこともあり、たく

さんのことを知り、たくさんの方々と出会い私の人生の中でとても忘れられない濃厚な学生生活でした。

二宮尊徳の名言「^{せきしょうだい}積小為大」へ

人間と文化 林 武史



私の小学校時代に、二宮尊徳像が校内に建てられていました。みなさんも、小学校時代に校内にこの像があったと記憶されていると思います。私は、

学校の行き帰りに、「薪を背負い本を読みながら歩く姿」（「負薪読書図」と呼ばれる）の像を見ていました。親からは、二宮尊徳のように、家の手伝いをしながら勉強するようにと、言われた記憶があります。

二宮尊徳は江戸時代後期に活躍をした、農政家、思想家であります。各藩の収穫量が少なく荒廃している村々での救済活動で能力を発揮しました。明治37年（1904年）国定教科書の修身の象徴として、二宮尊徳が取り上げられるようになりました。学校教育や地方自治における国家の指導に、彼が利用された経緯には、彼の実践した自助的な農政モデルとして、自主的に国家に献身・奉公する国民の育成を目的とした、統合政策の展開がありました。「尊徳像」は、彼らの政策によって展開された社会環境を前提として、国家の政策論理に同調することで、営業活動を行った石材業者や石工らにより普及したものとされます。

この二宮尊徳に「積小為大」（せきしょうだい）という言葉がありますが、意味することは、「小さい事が積み重なって大きな事になる。だから、大きな事を成し遂げるには、小さな事をおろそかにしてはいけません。」であります。元大リーグのイチロー選手は、2004年10月大リーグシーズン最多安打記録（258本目）を達成した時のインタビューに「小さい事を重ねることが、とんでもないところに行くただひとつの

道」と語っています。

また、老子の言葉として「千里の道も一歩から（始まる）」があり、この「積小為大」の精神を含意しています。

二宮尊徳像が教える一番大事なことは、「薪を背負い本を読む」ことではなく、「歩み続ける姿」であります。事を為す、または、成長を継続するためには、歩みを一歩でも止めてはいけません。私が放送大学で勉強しようと思ったのは、少しでも成長したいと思い平成24年4月に入学し、「小さな積み重ねが大きな差になる」この精神で現在、放送大学3コース目の卒業を目指して歩み続けております。

“名誉学生会員”を勧めて④



松江市 竹下孝子さん

今回は放送大学島根同窓会会長、竹下会長の奥様である竹下孝子さんを、学習センター3第一講義室で、石川副会長・仙田理事・それに知野見理事の三人がインタビューさせて頂いた。

—放送大学で学ぼうと思われたそのキッカケとは何でしたか？

竹下—60歳まで働いて、その後の時間を何に使おうかと思った時に、娘から自分の職場には放送大学で学んでいる人がたくさんいると聞きました。現役時代から生涯学習について色々考えていました。

—学びの開始は何歳の時でした？

竹下—62歳の時の2学期入学です。私が入学した頃は、入学手続きも書類が幾通りも必要で、窓口を確認に行きました。

朝や家族が寝た時に勉強

—勉強の時間とかはどうされていましたか？

竹下—退職後にいろいろなものを整理したら、たくさん記録物が出てびっくりし、よく頑張ったなと思いました。

勉強の時間ですが、朝早く目が覚めると直ぐに取りかかったり、主人が起きてくるまでの時間とか、皆が寝た後とか、決めた時間にといいことではなく、兎に角時間が取れた時に勉強をしました。大まかな計画というものを手帳に控えていて、何日までにここまで済ませるとかを決め、それに沿ってやっていました。60歳代後半から70歳代の後半までの10年間は、非常勤での仕事を引き受けたり、公民館の仕事とか、調査の依頼の事とか同時進行でしました。

—放送大学で学ぶ前と、学んだ後とを比べて、自分自身が変わったと思われるようなことはありますか。

竹下—放送大学という大きな存在がありましたので、心の中に張りがあり元気で過ごせたかと思えます。また友人・先輩の方達の輪の中にいて頂いたという、そんな関係も大きく影響しました。また大学で学ぶことによって「エコ」ということも知り、家事で洗剤を使わないとか油を流さないとか、ゴミの減量をすることなど小さいことでも取り入れたりしました。

—世の中の動きというものを、報道がされる前に得ることができたということですね。そうすると、竹下さんが放送大学で学んで何が良かったかということは、健康が維持できたということとか、友達ができたとか・・・ということですね。

—今回名誉学生を達成されましたが・・・

竹下—私は初めから名誉学生は意識にありませんでした。また卒業するというのも目指してはいませんでした。

「生活と福祉」の全科生で入りましたが、あの

頃は5コース在りましたので、興味のある科目をアチラコチラとつまみ喰いの感じで、当初はやっていました。「学びたい」という思いだけの一心で

したね。結果としてコースに関係ない科目が、名誉学生になるという時に生きてきましたね。面接授業も初めの4年間で30余り受講していました。

—そうすると「放送大学を卒業する」というお考えは当初は無く、「学びたい」という思いだったということですね。学ばれたことが何か「地域社会に役立つ」というようなことはありましたか。

「学び」があったから

竹下—そうですね。地域からいろんな役を頼まれた時に「イヤーそれは！」というようなことはありませんでしたので、そういうことも放送大学での「学び」があったからだと思っています。

—地域活動では、どんなことをされましたか。

竹下—公民館活動や行政の調査員なども、「大変だね」と言われつつもやりました。ナースという仕事をしてきましたので、本当はそういうことでお役に立ちたいという気持はいつもありました。

—放送大学で学ばれたそうしたいろんなことが、地域活動への後押しをするようなかたちとして存在したのですね。

次にお尋ねしたいのは、今の学ぶ学生へ伝えたいということなどがありましたら、お聞きしたいです。

竹下—私が入学したころの学生さんと、今の学生さんとの質が大分変わってきていますね。短大或いは4大をでられた方が更に積み重ねとして放送大学で学ぶというように。



この大学で学ぶと決めたからには、途中で投げ出すようなことはせずに「初志貫徹」、最後までやり遂げるという気概が大切かと思います。それと「学びを続けながら人生を楽しむ」ということですね。

—竹下さんが入学された頃は、放送大学の存在があまり世に知られていなかった感じですが、今はインターネットやら放送大学のCMなどもあつたりして変わっていますけど。

竹下—難しい問題ですね。学びたいと悩んでおられる方などがおられたら、こういう学びの場(放送大学)もありますよと、話はしています。

—学習センターに対する要望等がありますか。

竹下—コロナのこともありますが、今は家でテレビ・ビデオも見られますし(学習内容について)学習センターに足を運ぶ必要ということが無くなり、これは大きなマイナスですね。

—そうですね、今は学習センターへ来なくてもよくて、人とのつながりを無くしてしまうようです。放送大学の特色としての、一番よいところを捨ててしまっているという想いを私も持っています。

竹下—その辺りは私も危惧していますね。

新カリキュラムは中途半端です

—名誉学生の達成までに何年かかりました？

竹下—平成13年入学して「生活と福祉」コースに入り、7年かかりました。それは卒業をめざすのではなく、全体の中で科目を選んで履修していました。そのため結果としてこのコースで年月を費やしました。

また最近では16単位取れば卒業ということで、もっと学びたいと思っているのに、何か引きちぎられたような中途半端な気がしています。どうしてあんなことになったのでしょうか。当初のカリキュラムの変更を知った時には、学習センターにも相談しましたが、明確な答えはいただけませんでした。だから私はカリキュラムの変更はせずに、マアこのままで続けて学びたいと思い、それで余計に年数がかかりました。令和元年にすべてを学び終えましたので、気が

ついたら20年という歳月が過ぎていたというのが実感です。

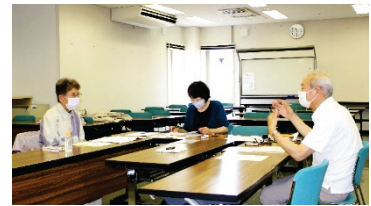
—新カリキュラムとなって、簡単に卒業ができましたね。

竹下—そうそう。学ぶ範囲が狭まった(狭められた)という感じがありますね。もっと単位数を取らなければ本当の学びにはならないですね。アツという間ですね。

「心の科学」は難関でした

—感銘を受けたコース、思い出に残る科目はありますか。

竹下—いろいろあります。平成17年に受けた「心の科学」と



いうのがありました。これが難しく、何が何だか分からなくて、最初の単位試験は落としました。2回目のときには合格しましたが、忘れられないですね。また、「分子生物学」というのがありまして、教科書をみても映像を見てもサッパリ分からなくて、担任の教授に直接質問をいたしました。計算をしたりするのが好きですから、本当にのめり込んでしまい、忘れられない科目ですね。

—文化人類学というのを知りまして、これが面白くて衝撃的でした。

—名誉学生を達成された後の日々の学びはどうしておられますか。

竹下—今は専科に入学して学んでいます。「世界文学への招待」を学び、パレスチナの紛争など他国の作家の作品を学びました。



—卒業研究はされましたか？

竹下—初めからする気がありませんでしたので、やっていません。私にとっての放送大学というのは、生涯学習の場という存在でしたから。

—名誉学生達成前とその後とのことをお聴きかせください。

竹下—名誉学生達成というのは、意識のなかにはありませんでしたので、何も変わらないですね。良い環境に恵まれ放送大学での学びだけでなく、他にも目を向けられて本当に良かったと思っています。

—そういう事だったから竹下さんが、モチベーションを維持して来られたわけですね。一つのことをやり遂げたその後というのは、意欲が落ちてしまうのですが、そういうものが在ったから意識を集中して、モチベーション維持ということに繋がっているのですね。

竹下—放送大学とは、私には「生涯学習」の場でした。終わりのないものですね。私は「放送大学で生かされてきた」かもしれませんね。学んだからどうしよう、こうしようということではなくて、日常知らず知らずのうちに、折々に学んだことが活かしていると思います。名誉学生達成ということも、大それたことを為したという思いはありません。

2人の方を尊敬している

—座右の銘とか、座右の書、好きな言葉、尊敬する人などがありましたら教えてください。

竹下—尊敬する人として私には二人の人がいます。勤めていた職場で一人はドクターで、そしてもう一人はナースとしての大先輩の方です。

学友の先輩からもたくさんの教えを受けました。出会が私の人生を豊かにそして幸せな時をいただきました。今もこれからも私の心の中で生き続けることでしょう。

—最後に竹下さんご夫妻は、共に放送大学で学ばれるオシドリ夫婦として知られていますが、ご夫婦仲良しの秘訣とは。

竹下—オシドリに見ていただけ嬉しいです。主人は中学卒業を前に父親を交通事故で亡くし、私は1歳の時に病気で父親を亡くしています。そんな運命を左右するような共通点を持っているからでしょう。

—名誉学生という呼び方、この「名誉」という特別な呼び方について、何かお感じになっていることはありますか。

竹下—私は深くは考えたことがありませんし、こだわりもありません。

—一本日はお忙しいところ、本当にありがとうございました

—時間近い時間マスクを付けられたままでのインタビューでした。

尊敬する人を尋ねたら、現職時代のお二人の人を挙げられた。これを聴いて「竹下さんの人となり、竹下さんそのものが頭れている言葉だ」と感じた。職務に全霊で取り組んで来られたということであり、誠実で謙虚なお人柄そのものということである。

淡々と語られていたが、「名誉学生」というものを確認してみても、これは矢張り大変なことなのである。

こんな短歌（道歌）が在った。

この秋は水か嵐か知らねども
きょうの勤めに田草とるなり 作者不詳

照ろうが降ろうが倦まずたゆまずコツコツと、「学びの道」を歩まれてこられたその足跡が、「名誉学生」として華開いたのである。

何時の時だったか、ある名誉学生の方を取材した時に「竹下会長の奥さんは私達放送大学生の鏡です」と聴いたことがある。

最後に、「放送大学で生かされてきました」と話された、竹下さんのこのことばがとても印象に残った。

地区会員の近況報告 (東部地域 3)

「学ぶことは おもしろい」

松江市 小村 朋子



今春初孫が6歳になり、小学校に入学を迎えた。そして次男も3歳になり、幼稚園の

年少組へ。「ジイジ」「バアバ」の呼ばれ方にも初めは抵抗があったが、それにも慣れてきた6年、何か一段落した感があります。

折角放送大学を卒業したのに、社会活動など参加せず、孫の成長に付き合ってきた6年。5歳になると、一人で我が家に泊まることを楽しみにするようになる。それも5泊しないと承知しない。親と離れて5泊するのが誇らし気でもあった。

いろいろな事に興味を持った。ホーゲルパークへ行ったのがきっかけで鳥に興味を持ち始めた。図鑑で探すのがおもしろい様子だったが、次第に彼の関心は自宅の近くや我が家の空へ向いて行った。「あっつーって飛んで行った。」とツバメを発見。「トンビって気持ちよさそうに、まあくまわるね。」と身近にいろいろな鳥がいることに気づき興味津々。暑くなると我が家の庭のつくばいに水遊び来るメジロを、そっとレースのカーテンの隙間から覗くのが楽しみになった。

散歩に出かけると、春の田んぼではカエルの卵を見つけ持ち帰る。あまりにたくさんのおタマジャクシが生まれ、小さな飼育器では育てきれず、5匹を残して元の田んぼへ返す。5匹も無事にカエルになって、我が家の庭で雨の気配を感じるとケロケロ鳴き出す。

孫の興味・関心につきあっていると「学ぶこと」のおもしろさに気づかされた。私もまた学びたいと思うようになって来た。次は何コースが良いかしらと考え始めています。

実は夫も現在「人間と文化」コースに在籍中です。「カキツバタは伊勢物語に出てくる。」「小林如泥って知っているか?」と意欲的。

やはり、「学ぶことはおもしろい。」



咲き誇るカキツバタ

卒業後の私

松江市 門脇 潤子

振り返ると在籍して10年が過ぎていました。いくつになっても知らないことがいっぱい、編入、卒業を重ねながら楽しんで学んでいます。「卒業後の私」というより「未だ在籍している私」が相応しいタイトルかもしれません。

コロナ禍で、多くの大学がリモートでの授業を行わざるを得ない状況ですが、放送大学は遠隔授業の最先端だったと改めて感心しています。いつでも、どこでも、そしてだれもが自分の都合に合わせて学べるシステムは素晴らしいと思います。

けれども、私が惹かれるのは、アナログな面接授業です。リモートの便利さを知る反面、同じ場所、同じ空気の中で目を合わせ言葉を交わす、人と人の繋がりの大切さに気付かされます。熱心に講義をしてくださる先生のエネルギーが伝わってきて、こちら元気を頂いています。

また、認定心理士資格取得を目標にしていた当初は、取りにくかった心理学実験の面接授業を受けるために他県のセンターに出かけました。それ以降も面接授業に導かれていろいろな県を訪れました。一人であちこち出かけるなんて、私にとって画期的なことです。また、自由に往来できる日が来ることを願ってやみません。

そしてもう一つの魅力は、大好きな美術館、博物館に学生割引で入館できることです。近くの県立美術館や出雲歴史博物館では、学生パスポートで何回でも心ゆくまで鑑賞しています。

というような理由で居心地よく、これからも在籍し続けることと思います。同時に、島根学習センターでの温かなご縁に支えられていることに感謝しております。



(東京・西洋美術館)

プラスチックごみを減らす活動！

松江市 北垣 幸久



所属する環境市民団体「くびきエコクラブ」では、日常的に地球温暖化抑制、節電や石油消費抑制、食べものを大切に、ごみ減らし等の「環境改善活動」を推進中のところ、今日大きな環境問題となっている海岸漂着ごみの現状を知ること、海岸の環境保全を目的に、5月30日(日)(ごみゼロの日)に島根町野波海岸で漂着ごみの回収作業を、会員とその家族、地元住民などあわせて33名で行いました。

梅雨に入り、風の強い日があったためか波打ち際には流木や材木が目立ちましたが、何と言っても多いのがプラスチック製ごみで、漁具、ロープ、使い捨て容器包装、ペットボトル、園芸用など多種多様。砂を掘ると、紫外線や波の影響で劣化し小片化していったプラスチックの破片も多く出てきました。

お店でもらったレジ袋、ペットボトル、たばこのフィルター、街中でなげなくポイ捨てされた「ごみ」は風に飛ばされ、雨水と一緒に排水溝などを伝って川へ流れこみます。川へ流れ込んだ「ごみ」は、川の流れによってやがて海に辿り着くのです。

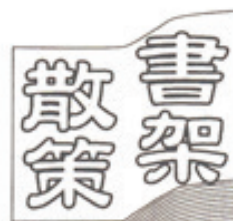
海に辿り着いたプラスチックのごみは、波や紫外線の影響を受けてボロボロになっていきます。それらを小魚や貝、プランクトンまでもが餌と間違えて食べてしまうのです。食物連鎖により、日本人一人当たり一週間に5グラム(クレジットカード1枚分)のプラスチックを摂取しているという調査結果もあります。

プラスチックは、軽くて便利に使える反面、世界的に深刻な海洋汚染や生態系への悪影響を引き起こしています。また、プラスチックごみを焼却するとその原料が石油であるため、地球温暖化の原因となる二酸化炭素(CO2)を大量に発生させることになります。

これらを防ぐために私たちに出来ることは、

日常生活においてプラスチックの使用を極力減らしていくしかありません。例えば、ペットボトルの利用を控えマイボトルを利用する、レジ袋を断りマイバッグ持参を習慣化する、過剰包装を断るなど身近なことからの取り組みが必要となります。

プラスチックごみの削減には、SDGs(持続可能な開発目標)No.12「つくる責任・つかう責任」No.14「海の豊かさを守ろう」の目標達成が必要と認識させられる一日となりました。



私の書架散策

No.10

大田市 知野見孝信



書籍名 『自助論』

著者名 S・スマイルズ
／竹内均訳

出版社 三笠書房

書棚を整理していたら、野上弥生子の『随筆・一隅の記』というのが出てきた。

裏表紙には1971・9月29日購入と記載あるので、昭和46年の、23歳のときにもとめたものである。

背綴も崩れかけたようなその本をパラパラと捲って見たら、もうその頃からの私の習癖(本



の中への、いたる処に注釈書き)が見え、目を通してみるとお決まりの、世の中を悟ったような小生意気な文言が並び、そんな思想にかぶれていたようだ。

人生甘いも辛いも渋苦酸、全てを経験してきた様なこの歳になって、こうした若い時から、折に触れて或いはブラリと書店に立ち寄ったときに買いもとめた、そんな本を読み返してみるのもまた楽しいものだ。

そんな私の書棚を占めるモノとは、随筆本とか詩歌集、思想的な本などが主なものであって、私の書棚には小説本は全く無い。もともと小説は読まないのだが、私の座右の書であるこの『自助論』にはこんな記述もあるからだ。

「このような大衆の好みに迎合するため、書物や雑誌にはどぎつい表現が盛りこまれ、おもしろおかしい言葉がふんだんに使われ、常識破りの下品な描写がわがもの顔で・・・著述家ジョン・スターリングも同じ趣旨のことを語っている。現代人、とりわけ成長期にある若者にとって、雑誌や小説は疫病以上に恐ろしい新たな精神の病だ。それはきれいな水を腐らせ、家庭をむしばむ害虫のようなものだ」(第8章・自己修養「精神に弾力性を与える読書を」)

さて私の座右の書『自助論』は、英国のS・スマイルズによって1858年に出版された。

S・スマイルズがこの書を著したころの英国というのは「ユニオン・ジャックの翻るところに太陽が没することはない」と云われていたほどの国であった。(現在の英国の世界的な地位と比べるとどうだ!)つまり、当時の大英帝国とはこの本を著したスマイルズの説いた「自助論」の精神をもった人びとで溢れていたのである。

この本の訳者竹内均氏もこの本の書評として、自己実現とは勤勉・正直・感謝以外にないと言いつけている。(竹内均氏のこの言葉から、どんな本であるかを、凡そ察してください)。

同窓生の皆さんに一読を勧める。

最後にカバーに記載ある、この本の紹介文を載せておく。

「自分の夢がどんなものであれ、その実現法

が必ずこの本のなかに書かれている。この本は必ずあなたの「人生の恩書」になる！」

自由投稿

「心ひかれる草花」を描く

安来市 佐藤 ひばり



野に咲く草花は、自然の営みや命の姿そのものを教えてくれる。植物の造形の美しさや生命の神秘に心動かされ、その姿は心の安らぎを誘いでくれます。

私の日課の一つに朝のウォーキングがありますが、近くの海岸沿いを4kmくらい歩きます。その時いろいろな発見や感動があります。朝露に濡れた草花に光が当たってキラキラと輝いたり、風に揺れる穂先や葉などを見ると自然のありがたさを感じます。

季節には周辺の日々の新緑や紅葉、道端には草花や雑草が生い茂り、いたるところで四季を感じ生命の輝きを発見できます。その時の感動を絵にしたいと思い、植物画を描いています。私が描いている植物画はボタニカルアートといえます。

ボタニカルアート (Botanical Art) とは、植物学的な芸術のことですが、科学的な目で植物を正確に描いた、しかも芸術的に優れた絵画であるということです。普通、絵画というと、描く人が感じたものを一番大切に、色も形も自由に表現してよいのですが、ボタニカルアートの場合は、植物学的な特徴を、主観を交えず忠実に表現します。絵を見てその植物の名前がわかるほどに正確に描かれていなければいけません。

本来、植物画には4つの約束事があります。

- ①植物の特性を変えない。
- ②実物大に描く。
- ③背景に色を塗らない。
- ④人工的なもの(花瓶や植木鉢など)を描かない。

このような約束事を守って描くのが植物画で

すが、私が描いているのは4つの約束ごとのうち、①の「植物の特性を変えない」という基本原則を守りながら、ある程度自由に描いています。堅苦しく図鑑の絵のようではなく、植物の持つ特性や美しさを表現できるように心がけています。初夏を迎えるこの頃、道端にはヒメジオン、マンテン、ヒメオドリコソウなどの野の草が風に揺れています。白や赤や黄の花を持つかわいい草花たちを見ると愛おしく思い、描いてみたいと思うのです。

花をじっくり眺めて描く時間は心が落ち着く一心になれるひと時です。植物画は繊細で優しさが感じられ、癒される絵だと思います。描くということは本当によく見ないとできません。知っている花でも描いてみると知らなかった部分に気づいてびっくりすることもあります。自然の造形美の素晴らしさ、色彩の美しさに本当に感動するのです。表面的な美しさだけでなく、生きている本当の美しさに感動する気持ちを今後も持ち続けたいと思います。

～同窓会からのお知らせ



新会員のご紹介 (2021年1月～2021年6月)

2020年度第2学期卒業

- ◎人間と文化 佐々木敏夫さん(松江市)
 - ◎心理と教育 林原 紳二さん(大山町)
 - ◎心理と教育 藤田 祐子さん(松江市)
- ※ご入会ありがとうございました

◆同窓会の活動日誌◆

(2021年1月～6月)

【1月度】

- 6日(水) “たたら” 発送準備
- 8日(金) “たたら” 発送
- 28日(木) 英語塾開講⑤

【2月度】

- 18日(木) 英語塾開講⑥
- 26日(金) 学位記行事開催打合せ

【3月度】

- 14日(日) 同窓会倉庫整理
- 18日(木) 英語塾開講⑥閉講
- 23日(火) 決算資料の作成
- 28日(日) 2学期学位記授与式
- 28日(日) 卒業を祝う会開催

【4月度】

- 3日(土) 会計監査
- 3日(土) 第2回役員会
- 4日(日) 総会議案書印刷
- 5日(月) 総会関係資料発送
- 17日(土) 第9回通常総会開催

【5月度】

- 14日(金) 第26回広報部会
- 14日(金) 第9期第1回役員会
- 14日(金) 学習センターと懇談会
- 29日(土) 第24回連合会総会(Zoom)

【6月度】

- 5日(土) S T I K支援協議会
- 5日(土) 第27回広報部会
- 5日(土) 第9期第2回役員会
- 12日(土) PC活用教室事前打ち合せ
- 13日(日) 会員の名誉学生取材
- 17日(木) 会員の地域活動取材
- 26日(土) 初心者のPC活用教室①

会員継続手続きのお願い

2021年4月に総会議案書の送付時に、総会の出欠についてハガキを同封し、継続会員登録のお願いをいたしましたところ、未だご返事の手続きを頂いておりません。該当の方には今回請求書を同封しています。

お手数ですが「継続」か「退会」のご意向をお願いします。ご返事がない場合は残念ながら「退会」となります。

第 9 回通常総会にて 選任された役員

(任期：2021 年 4 月～2023 年 3 月)

- 会 長 竹下 靖彦 (再任・松江市)
副会長 石川 直樹 (再任・松江市)
〃 佐藤ひばり (再任・安来市)
〃 琴野 正義 (再任・浜田市)
理 事 古川 貞美 (新任・日野郡)
〃 長尾美和子 (再任・米子市)
〃 飯塚 裕子 (新任・安来市)
〃 森脇エイ子 (再任・松江市)
〃 川上 美里 (再任・松江市)
〃 仙田 悦子 (再任・松江市)
〃 安井多喜恵 (再任・出雲市)
〃 知野見孝信 (再任・大田市)
〃 板倉 直之 (再任・大田市)
〃 山縣 慶子 (新任・江津市)
監 事 田中 秀典 (再任・松江市)
〃 林 武史 (新任・松江市)

新役員からの挨拶

役員に就任して

鳥取・日野郡 古川 貞美



古川貞美です。宜しくお願い致します。岡山県との県境の鳥取県日南町に住んでおります。

90 代の老親の介護・松江迄 2 時間弱かかります。学生で学ぶ

には無理がある今、同窓会の活動に感謝しています。無理なく興味深い面接授業を受講出来る事等々に。役員を受けましたのは同窓会の活動の数合わせにだけでも役に立てばと思つての事です。

もう一つ新しい出会いも楽しみにしています。

新役員に就任して

安来市 飯塚 裕子



この度通常総会において、理事に就任しました飯塚裕子です。

昨年 3 コースを卒業し、今 4 コース目に在籍しています。同窓会としても、昨年からのコロ

ナウイルスのため、活動を自粛せざるを得ない環境です。また、大学では Web 会議、オンライン授業、通信指導等インターネット活用も重要になってきております。

私も高齢者の仲間です。これから始まる新たな学びに挑戦して行こうと思つています。

どうぞよろしくお願ひ致します。

役員就任にあたって

江津市 山縣 慶子



皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、役員に就任しました山縣慶子でございます。このような

大役を仰せつかるにはまことに微力でございますが、先輩各位ならびに皆様のご助言・ご協力をあおぎ、放送大学の発展に努力いたす所存でございますので、なにとぞ、倍旧のあたたかいご理解・ご協力ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

今後は初心に振り返り、ともに理解し合い励まし合つて、放送大学の発展に向けて努力を重ねたいと考えております。

まずは略儀ながら書中をもってご挨拶申し上げます。皆様のご健康とますますのご活躍をお祈りいたします。

監事に就任して

松江市 林 武史



今回、監事の役を務めます林です。在任中はその役目を微力ながら全力投球したいと考えております。

同窓会会員は、現在約80名ですが10年後には140名にしたいと思っております。

そのためには、既存入学者へのアプローチ、新規入学者の開拓で毎年、対前年比約3パーセントUPすれば、その目標を達成できます。しかし、毎年退会する会員さんもいるので、それらを考慮すると、対前年比で倍の6パーセントUPの新規会員を獲得しなければなりません。

一人ではこのことを実行するには不可能なことです。同窓会会員の皆さんが自分のことのように思い、新規学生の皆さんとよい人間関係作るようにしましょう。

退任役員のご挨拶



同窓会設立時からの中心メンバーとしてご活躍されました役員でした。

長い間本当にありがとうございました。

島根同窓会役員退任にあたって

金田 文子

同窓会活動で、他府県からも多くの羨望の声がある島根同窓会活動。役員各自の専門性を生かし、日々“より良い同窓会”を目指しての意見交換は“枯れ木にも山・・・”的存在の私には大切な学びの時間でした。

しかし、「元気で、若くて、美しく」の最大願望も虚しく「超高齢」が付きまとい、連日「どっこいしょう」状態。多様な学び方、多様な生き方

を学び、熱心な素敵な皆さまに接することが出来「生きる力」を沢山いただき、充実した時間でした。

お支え頂いてまいりました事厚く御礼申し上げます。今後指定席は無くなりますが、心が勝手に邪魔するのではとっております。

皆さまのご活躍、ご多幸を心からお祈り申し上げます。

役員退任にあたって

安部 保江

この3月の任期をもって、広報部員を退くことになりました。

竹下会長の機を見て敏なる、先見の明は役員の方の気持ちの一つにして、良くご指導くださいました。私は何の役にも立ちませんでした。役員会の雰囲気はとても楽しいものでした。

役員が、会長を支え当初の紆余曲折を乗り越えて、今日の島根同窓会が出来上がりました。そして身の丈を超えるほどの活躍をしていることは、大いに自慢していることだと思っております。

皆様にお会いして、お世話になったことのお礼を申し上げるべきだと思っておりますが、コロナのこの時期ですので書面をもって失礼いたします。

益々のご活躍をお祈りいたします。ありがとうございました。

『役員退任にあたって』

小汀 政徳

この度の同窓会の役員改選にあたり、健康上の理由により役員を退任いたしました。同窓会設立以来、主として広報について担いました。

また、皆様と一緒に各種行事に参加させていただき、嬉しく思います。今後とも同窓会の益々のご発展を祈念いたします。

「役員退任にあたって」

宅和 由男

当初1期だけという約束で、携わった同窓会の役員でしたが、いつの間にか8年が過ぎてしまいました。

運悪く、役員を引き受けた年から職場の異動で、忙しくストレスフルな部署に変わったものですから、週末の役員会や行事の開催でも一人

で暮らす自分にとっては、そこそこのお役目でした。

とはいえ役員活動で受ける刺激や経験は貴重なもので、元気いっぱいに動かれる会長のもと澁瀬と役員会に参加する皆さんに、後からなんとか付いて行く感じで過ごさせていただきました。

果たして、自分があと10年15年たって同じように活躍できるのか、頭が下がりました。

申し訳ない8年でしたが、参加させて頂きありがとうございます。

同窓会 当面の行事案内

2021年度第1学期学位記授与式開催のご案内

日時 2021年9月26日(日) 11:00~12:00 (共催: 島根同窓会)

会場 島根学習センター 3階 「第1講義室」

対象者 2021年度第1学期の卒業要件を満たした学生・修士修了者の皆さん
※卒業を祝福するため、会員のご参加をお願いします。

2021年度第1学期卒業を祝う会開催のご案内

日時 2021年9月26日(日) 12:00~13:00 (共催: 島根学習センター)

会場 STIKビル 5階 「交流ホール」(予定)

対象者 2021年度第1学期の卒業要件を満たした学生・修士修了者の皆さん
※卒業を祝福するため、会員のご参加をお願いします。

～編集後記～

今号は執筆をご依頼しました皆さんから、企画通りのご協力を頂きましたことにお礼を申し上げます。

特に役員に関する記事が多数となりましたのは、同窓会設立から活動を支えて頂きました役員の方々に退任の挨拶を寄稿して頂き、合わせて新任の方々にご挨拶を頂きました。

また、印刷費の捻出が財政を圧迫しつつありますので、最大で16ページとして発行することになり、結果として原稿の執筆依頼をしておきながら掲載をせず、次号に回すことになり、関係者にご迷惑をお掛けする次第となりましたことに改めてお詫びを申し上げます。

なお、広報部では地域での社会貢献活動に取組まれておられる会員を探しています。是非ともご紹介下さるようお願いいたします。新型コロナウイルス「デルタ型」から「ラムダ型」へと変異をしています。皆さまには十二分にお気を付け頂き、罹患しないようにして下さい。(靖)